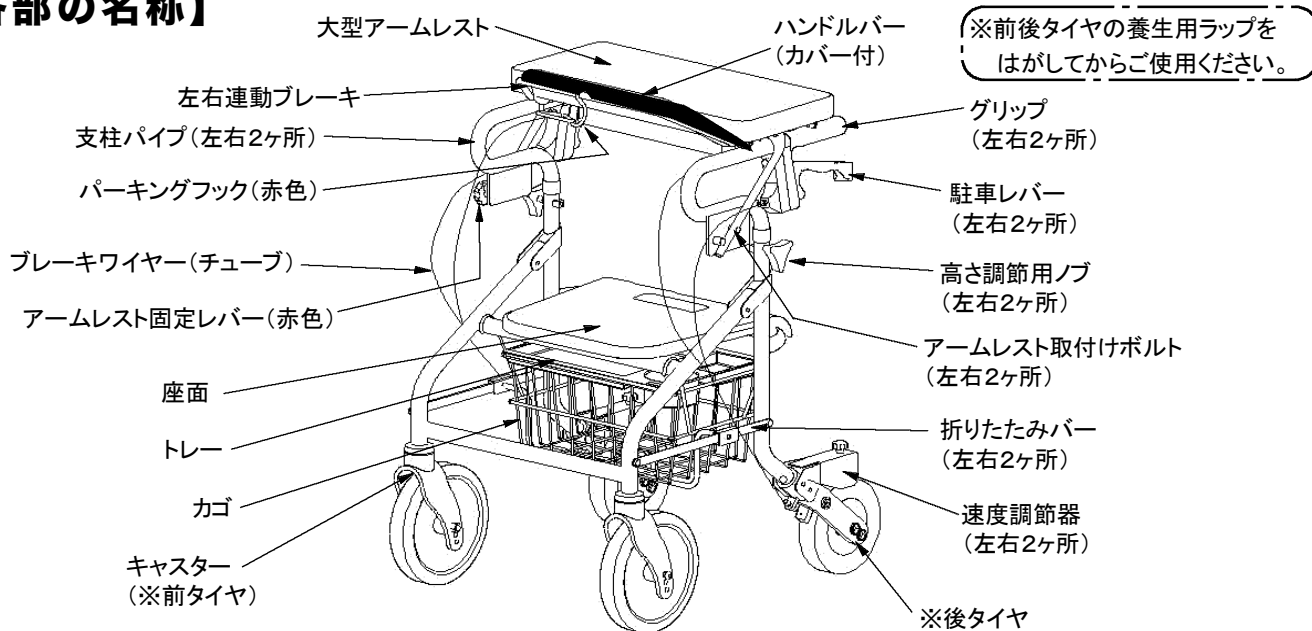


イーストアイ・セーフティーアーム[®]シリーズ セーフティーアーム ロレータUタイプ (品番：RSAU) 取扱説明書

この度は「イーストアイ・セーフティーアーム ロレータUタイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

【各部の名称】



【基本仕様】

品名：セーフティーアーム ロレータUタイプ





品番	使用時サイズ	重量	タイヤサイズ	材質
RSAU	幅51.5×奥行61 ×高さ83～103cm (9段階調節)	11.5kg	前タイヤ：8インチ (約20cm) 後タイヤ：6インチ (約15cm)	本体：アルミ(一部スチール) グリップ：合成ゴム トレー：ポリプロピレン 座面・その他：合成樹脂 大型アームレスト：ウレタン

最大使用者体重 100kg(カゴ、トレーの積載物重量を含む)

目次

- ・各部の名称1P
- ・基本仕様1P
- ・警告表示の説明2P
- ・ご使用前に2P
- ・福祉用具レンタル業者の皆様へのお願い3P
- ・使用上の警告と注意3～9P
- ・片手で操作をする場合10P
- ・ご使用前の準備11P
- ・ブレーキの操作方法12P
- ・ブレーキの調整方法12P
- ・速度調節器の操作方法13P
- ・ご使用方法14P
- ・折りたたみ・収納方法15P
- ・ブレーキの点検方法16P
- ・お手入れの方法17P
- ・お手入れの際のチェックポイント17～19P
- ・安全に製品をご使用いただくために20P

【警告表示の説明】

<p>警告表示 :  警告</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示 :  注意</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号 :  禁止</p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号 :  必ずおこなう</p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

【ご使用前に】 **警告**

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

- この「セーフティーアーム ロレータUタイプ」は、屋外・屋内での歩行を補助するための製品(歩行車)です。ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャー等)に歩行車を使用することが可能かどうかをご相談ください。
また、長期間ご使用される間に、使用される方の症状が変わる場合があります。
定期的に専門家にご相談ください。
- 用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。
- この歩行車は前腕で身体を支えることができない方、ハンドルバーをしっかりと握れない方、ブレーキ操作ができない方は使用できません。また、つかまり立ち、伝い歩きができない方は使用できません。
- 使用される方の体力や状態、使用場所に依じて、介助の方が付き添いご使用ください。
- この製品は車いすと異なります。座面に座った状態で人を運ぶために使用しないでください。
- この製品は、大型アームレストに両腕(前腕)を乗せて使用します。大型アームレストを前方に倒して、グリップを握ってのご使用はできません。
- 使用される方の体力や状態、使用場所に依じて、カゴにのせる荷物の量を減らすなど調整してください。
坂道や傾斜面でも不自由なく取り回しができる荷物の量をご確認の上、ご使用ください。
- 特に荷物が多くのった状態では、歩行車本体が傾斜している下方へ動いてしまいます。
傾斜面で歩行車の制御ができるように使用者の体力に合わせて荷物の積載量を調整してください。
- 公道で使用する場合は、歩行車の操作に十分慣れてからご使用ください。
歩行車は歩行者として取扱われます。道路通行時は必ず右側を通行してください。
また車道は歩行せずに、できる限り歩道や幅のある路側帯を通行してください。
- 公共交通機関(バス、電車)や店舗での使用については、各交通機関や店舗などの指示にしたがってください。
また、車内では、歩行車を使用して歩行しないでください。
- 製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、ご使用前に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。
この製品の保証期間はご購入日より1年間です。
なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して定期点検をしていただき、異常が見られる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
- タイヤ、ブレーキワイヤー、座面などは交換修理ができます。
傷や摩耗、変形などが見られる場合は交換修理をおすすめします。
交換修理につきましては、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

【福祉用具レンタル業者の皆様へのお願い】

- * 歩行車をレンタルされる場合は、実際にご使用になるお客様に事前に歩行車の使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。
また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:家具、溝、段差など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。
- * 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、歩行車の状態を『お手入れの際のチェックポイント:17~19頁』に基づきご確認いただき、メンテナンスをおこなってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、『製品についてのお問合せ先:20頁』までお問合わせください。
メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。
定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- * 弊社ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードすることができます。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

【使用上の警告と注意】



警告

* 安全のために必ずお守りください。

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

ブレーキの 作動確認と調整

- 必ず使用前に左右連動ブレーキが正常に作動すること、また、駐車ブレーキやパーキングフックをかけた時に後タイヤがしっかり固定され、手で後タイヤが容易に回転しないことをご確認ください。『ブレーキの調整方法:12頁』をご参照ください。
- 後タイヤがすり減るとブレーキの効きが甘くなってきます。
ブレーキを調整しても後タイヤの固定ができない場合は、
『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合わせください。

❗必ずおこなう

支柱パイプは左右 同じ穴位置にセット

- 左右の支柱パイプは同じ穴位置(高さ)にセットしてご使用ください。
- 左右の支柱パイプを同じ穴位置(高さ)にしないと、大型アームレストが傾き、上体が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
また、大型アームレストを倒したり起こしたりする際に無理な力がかかり、大型アームレストのシャフト部分や取付け部分が破損するなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

高さ調節用ノブの 締め付けを確認

- 高さ調節用ノブは使用とともにゆるみが出る場合があります。ご使用前に高さ調節用ノブのゆるみをご確認ください。
ゆるんでいる場合は締め直してからご使用ください。
『ご使用前の準備:11頁』をご参照ください。
- 高さ調節用ノブがゆるんだまま使用すると、大型アームレストが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

大型アームレストと ハンドルバーの 取付確認

- ご使用前に大型アームレストとハンドルバーの取付けを点検し、取付けボルトとナット、取付けビス等にゆるみや脱落がないか確認してください。
ゆるみがある場合は締め付けてください。
また、大型アームレストが座る位置と歩行位置にスムーズに可動すること、歩行位置でアームレスト固定レバーがきちんとロックされることをご確認ください。
異常が見られる場合は、即時に使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合わせください。
- 歩行時や腰をかけた時に大型アームレストがはずれて、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

ネジがゆるんだまま
使用しない

- タイヤ取付けボルトや各部の取付ネジは、ご使用とともにゆるみが出ることがあります。ご使用前にネジやボルトのゆるみをご確認ください。ゆるんでいる場合は締め直してからご使用ください。
- ネジやボルトがゆるんだまま使用するとタイヤや本体フレームがはずれたり、脱落して歩行車が固定されずに不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- *ネジやボルトを締め付けすぎると、動きが悪くなる場合があります。ネジやボルトを締め直した際に動きが悪くなった場合には、少しだけゆるめるなどして動きを確認してください。

❗必ずおこなう

ハンドルバーを
握って使用

- 歩行時には、前腕を大型アームレストにのせ、ハンドルバーをしっかりと握り、常に左右連動ブレーキをかけられる状態にしてご使用ください。
- ハンドルバーを握らないで使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

大型アームレストに
偏った力をかけない

- 歩行時には、大型アームレストに偏った力をかけて使用しないでください。両手が使える場合は必ず両手でハンドルバーを握り、左右均等に体重がかかるようにしてください。また、片手しか使用できない場合も必ず握れる方の手でハンドルバーを握り、左右均等に体重がかかるようにしてください。
- 偏った力をかけて使用すると、まっすぐに走行できずに歩行車が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

公道での使用に注意

- 公道で使用する場合は、歩行車の操作に十分慣れてからご使用ください。状況に応じて介助の方が付き添いご使用ください。歩行車は歩行者として取扱われます。道路通行時は必ず右側を通行してください。また車道は歩行せずに、できる限り歩道や幅のある路側帯を通行してください。
- 車や自転車などへの接触など思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

傾斜面、坂道での
使用に注意

- 坂道や片側が傾斜している路面での使用には十分ご注意ください。
- 走行が不安定になったり、速度が増して転倒するなど思わぬ事故の原因になります。特に荷物が多くのった状態では、歩行車本体が傾斜している下方へ動いてしまいます。傾斜面で歩行車の制御ができるように使用者の体力に合わせて荷物の積載量を調整してください。

⊙禁止

急ブレーキを
かけない

- 急ブレーキはかけないでください。
- 急ブレーキをかけることで、上体が前にずれ転倒など思わぬ事故の原因になります。

⊙禁止

溝や段差に注意

- 踏切の線路の溝や道路の側溝などの溝にご注意ください。溝に対して左右前タイヤの向きを直角方向にそろえてから歩行してください。また、大きな溝は避けてください。
- 溝にタイヤがハマって動けなくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- 段差にキャスターを強くぶつけるなどして無理に段差をのり越えないでください。
- 繰り返しキャスターに衝撃が加わると、樹脂部が劣化して破損するなど思わぬ事故の原因になります。
- 縁石など小さな段差をのり越える際にも十分ご注意ください。
- 歩行車がバランスを崩して転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

⊙禁止

視界や路面状況が
悪い場合は使用しない

- 夜間などに使用する場合は、介助の方が付き添うなど、十分注意してご使用ください。また、視界や路面状況が悪い場合は、屋外で使用しないでください。
- 転倒や他の通行物への衝突など思わぬ事故の原因になります。

⊙禁止

ハンドルバーだけに
体重をかけない

- ハンドルバーだけに体重をかけないでください。
- ハンドルバーだけに体重をかけて使用すると、歩行車が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

⊙禁止

大型アームレストを倒して歩行しない
ⓧ 禁止 ●この歩行車は大型アームレストを倒して、グリップを握った状態での歩行はできません。
○この状態で使用すると後タイヤが摩耗したり、ブレーキ部品が破損するなど思わぬ事故の原因となります。

階段・エスカレーターで使用しない
ⓧ 禁止 ●階段やエスカレーターで使用しないでください。
○転倒や転落など思わぬ事故の原因になります。

駐車ブレーキをかけたまま移動しない
ⓧ 禁止 ●駐車ブレーキや、パーキングフックを作動させたまま、歩行車を移動しないでください。
○後タイヤが摩耗したり、ブレーキ部品が破損するなど思わぬ事故の原因になります。

速度調節器を締め過ぎない
ⓧ 禁止 ●速度調節器を調節する場合は、歩行時にタイヤが回転する程度に調節してください。
○タイヤが回転しないくらいまで速度調節器を調節すると、速度調節器の各部品が破損するなど思わぬ事故の原因になります。

歩行車を前へ進め過ぎない
ⓧ 禁止 ●使用時には一度に歩行車を前へ進め過ぎないでください。
○身体を前に移動させることが困難になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因となります。

走って使用しない
ⓧ 禁止 ●速度を調節しながらゆっくり歩行してください。また、歩行車を使用して走らないでください。
○歩行車の速度が増して、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

折りたたんだ状態で使用しない
ⓧ 禁止 ●折りたたんだ状態で使用しないでください。
座面をしっかり下げ、受け部をパイプにしっかりはめてからご使用ください。
○不安定な状態で使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

滑りやすい場所等で使用しない
ⓧ 禁止 ●濡れた床、タイル面、浴室内、ぬかるみや砂利道など滑りやすい路面では使用しないでください。
○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

浴室内で使用しない
ⓧ 禁止 ●浴室内で使用しないでください。
○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、浴室内の水分により金属部分のサビや、樹脂部の劣化を早める原因になります。

駐車の際は
駐車ブレーキを使用
ⓧ 必ずおこなう ●歩行車から離れる際は、必ず駐車ブレーキをかけて、歩行車を固定してください。
○歩行車が突然動きだし、通行者にぶつかるなど思わぬ事故の原因になります。

座面に座る前に大型アームレストを倒す
ⓧ 必ずおこなう ●座面に座る前に、大型アームレストを座る使用位置に倒してください。
○倒さないままで座ろうとすると、大型アームレストに背中が当たり、歩行車が前方にずれたり倒れるなどして転倒によるケガなど思わぬ事故の原因となります。

座面に座る前に
駐車ブレーキを確認
ⓧ 必ずおこなう ●座面に座る前に駐車ブレーキをかけてください。
また、座る時はゆっくりと腰かけてください。
○歩行車が急に動き出し転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

勢いをつけて座らない
ⓧ 必ずおこなう ●勢いをつけて座ったり、座面や背パイプに瞬間的に大きな力がかかるような座り方はせず、座る時はゆっくりと腰かけてください。
○上記のような使い方を繰り返すと、座面や各パイプが破損して、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

移乗する際の注意

- 本製品への移乗、または本製品から移乗する際は十分ご注意ください。
- 移乗する際は、ご使用される方の身体のバランスが崩れやすく転倒の危険性があります。歩行車の駐車ブレーキを必ずかけてください。
- また、必要に応じて介助の方が付き添ってご使用ください。

❗必ずおこなう

坂道で座面に座らない

⊙禁止

- 傾斜地や坂道では座面に座らないでください。また、坂道に駐車しないでください。
- 歩行車が急に動き出し、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

**立ち座りの際は、
グリップを握る**

⊙禁止

- 立ち座りの際はグリップを握っておこなってください。
- 駐車レバーや、アームレスト固定レバーなどにはつかまらないでください。
- グリップ以外につかまると、駐車レバーや、アームレスト固定レバーなどの破損につながり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

**立ち座りの際に、
大型アームレストに
つかまらない**

⊙禁止

- 立ち座りの際に、大型アームレストに大きな力をかけてつかまったり、座った時のけぞるように大型アームレストによりかからないでください。
- 歩行車が急に動き出したり、大型アームレストが破損するなどして転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

座ったまま移動しない

⊙禁止

- 歩行車に座った状態で移動しないでください。
- 転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

人を運ばない

⊙禁止

- 車いすのように人を座面にのせて、移動しないでください。
- 座面から転落するなど思わぬ事故の原因になります。

**座面ボードの上に立ち
上がらない**

⊙禁止

- 歩行車の座面の上に立ち上がらないでください。
- 座面から転落するなど思わぬ事故の原因になります。

**ハンドルバー、
左右連動ブレーキを
持って持ち上げない**

⊙禁止

- 歩行車本体を持ち上げる時や移動する時に、ハンドルバー、左右連動ブレーキを持っての持ち上げや移動はしないでください。
- 大型アームレストの破損やガタツキの原因になります。

**カゴ以外に荷物を
のせない**

⊙禁止

- 座面に荷物をのせたり、ハンドルバーに荷物をぶら下げるなど、カゴ以外に荷物をのせないでください。
- 荷物が落下して破損したり、落下した荷物でケガをするなど思わぬ事故の原因になります。
- また、走行が不安定になり思わぬ事故の原因になります。

**カゴにももの
のせすぎない**

⊙禁止

- カゴを取付けて使用する場合、荷物の積み過ぎにご注意ください。
- *カゴの最大積載重量は、トレーとトレーにのせているものを含め5kgです。**
- カゴが破損したり、歩行車が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- カゴに荷物をのせる際は、偏った積み方をしないでください。
- 歩行車自体が転倒するなど、荷物や歩行車、カゴの破損や変形の原因になります。

**トレー使用時の
注意**

⊙禁止

- 付属のトレーは、「セーフティアーム・ローラーUタイプ」専用品です。他の製品に取付けて使用しないでください。また、トレーのみで使用しないでください。
- トレーにこぼれやすい飲み物や割れ物、貴重品(鍵、財布など)をのせて使用する際はご注意ください。また、必ず座面は下げてご使用ください。
- 振動で、トレーからものが落ちて紛失・破損する恐れがあります。また、飲み物がこぼれて床面を濡らしたり、容器(陶器・ガラスなど)がトレーから落ちて割れるなど思わぬ事故の原因になります。

トレーの上にものを
のせすぎない

⊙ 禁止

- トレーの上にものをのせすぎないでください。* 積載荷重1.0kg以下でご使用ください。
 - トレーやカゴが破損したり、歩行車のバランスがくずれるなど思わぬ事故の原因になります。
- * カゴはトレーを含め、積載重量5kg以下でご使用ください。

パイプを曲げ
戻さない
(修理の禁止)

⊙ 禁止

- 歩行中に脚先が溝や穴にはまり転倒するなどして、歩行車に大きな力がかかった場合、パイプが曲がる場合があります。この時パイプを元の状態に曲げ戻さないでください。
 - アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- パイプに変形、異常が現れた場合には使用せずに、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

改造をしない

⊙ 禁止

- 本体に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。
 - 改造された製品は強度や安定性などの保証はできません。
- また、改造された製品に不具合が起きても弊社での修理対応はできません。

⚠ 注 意

* 安全のために必ずお守りください。

- は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
- は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

用途について

⚠ 注意

- この歩行車は、屋内・屋外での歩行を補助するための歩行補助用具です。前腕で身体を支えることができない方、ハンドルバーをしっかりと握れない方、ブレーキ操作ができない方は使用できません。また、つかまり立ち、伝い歩きができない方は使用できません。
- 用途以外の使用をすると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

介助の方が付き
添い使用

⚠ 注意

- 使用される場所、使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添ってご使用ください。

幼児や子供に注意

⚠ 注意

- 幼児や子供は思わぬ行動をする場合がありますのでこの歩行車に近づけないよう十分にご注意ください。
 - この歩行車は折りたたみができる構造ですので、幼児や子供がいたずらをしたりすると、指などをはさんだりしてケガをするなど思わぬ事故の原因となります。
- また、この歩行車で遊んだりすると、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

交通量の少ない
場所で使用

⚠ 注意

- 交通量の多い場所では使用を避けるか、介助の方が付き添ってご使用ください。
- 通行者と接触し転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

階段での持ち運び
等に注意

⚠ 注意

- 階段等では、本体を折りたたみ、持ち運びをする際には十分ご注意ください。必ず介助の方が持ち運びをおこなってください。
- ご使用される方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります

屋内での使用に注意

⚠ 注意

- 屋内で使用の際は、敷物(じゅうたん等)にご注意ください。
- 敷物にタイヤや足をとられて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

キズつきに注意

⚠ 注意

- 特に一般家庭などの限られたスペースで歩行車を使用する場合、歩行車が壁や家具などに当たったり、ぶつかったり、こすれたりする場合がありますのでご注意ください。
 - 歩行車本体が破損したり、壁・家具などがキズついたりする原因になります。
- 歩行車が壁や家具にぶつかってしまう場合は、介助の方が付き添って歩行車をご使用されるか、市販のゴムシートなどで壁や家具を保護してご使用ください。

ブレーキワイヤーに注意 ●ご使用の際に、ブレーキワイヤーが周囲の物に引っかからないようにご注意ください。
また、高さ調節時などにブレーキワイヤーを無理に引っ張らないようにご注意ください。
ご使用前に必ずブレーキワイヤーに異常がないことを毎回点検ご確認ください。
*ブレーキの点検につきましては、『ブレーキの点検方法:16頁』をご参照ください。
○ブレーキワイヤーが傷ついたり、変形してブレーキの効きが悪くなり、転倒など思わぬ事故の原因になります。

⚠注意

指をはさまないように注意 ●支柱パイプ高さ調節時、大型アームレストを倒す時や起こす時、歩行車を折りたたむ時、カゴやトレーの脱着時等での指や手のはさみ込みにごご注意ください。
●座面の穴、ブレーキワイヤーなどへの指や手のはさみ込みや巻き込まれにごご注意ください。

⚠注意

ガタツキに注意 ●本体のガタつきにごご注意ください。
○本体に無理な力がかかることで、ガタつきが出る場合があります。
ガタつきがある場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

⚠注意

大型アームレストの確認 ●大型アームレストに、破れがないこと、がたつきがないことをご確認ください。
○確認の際に大型アームレストの破れや変形などが見られる場合、部品に不足がある場合は『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

❗必ずおこなう

グリップの確認 ●グリップを握った時に破れがないこと、簡単に回転しないことをご確認ください。
○確認の際にグリップの摩耗や変形・変質(硬化、べたつき、変色、亀裂)などが見られる場合は、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

❗必ずおこなう

ブレーキワイヤーの確認 ●ブレーキワイヤー(チューブ)が無理に曲がっていないことをご確認ください。
○ブレーキワイヤー(チューブ)が無理に曲がっていると、製品の構造上ブレーキ調整の具合によりブレーキが常に軽くかかった状態になり、タイヤのすり減りによりブレーキの効きが悪くなったり、本体がガタつくなど安定した走行ができなくなる原因になります。
折りたたみ動作後や、大型アームレストの可動後は特に注意してください。

❗必ずおこなう

座面の確認 ●ご使用前に必ず、座面の表裏面に亀裂、変形などの異常がないことをご確認ください。
○座面が破損して、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
座面に異常がみられる場合は、使用せずに『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

❗必ずおこなう

タイヤのすり減りを確認 ●タイヤ(前・後)にすり減りがないことをご確認ください。
○ブレーキの効きが悪くなったり、本体がガタつくなど安定した走行ができなくなる原因になります。タイヤは消耗品です。確認時にすり減りがひどい場合は、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

❗必ずおこなう

トレーの確認 ●トレーをカゴにはめ込み、しっかり取付けられていることをご確認ください。
○使用中にトレーがはずれるなど思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

ドリンクホルダーに置いた容器に注意 ●トレーのドリンクホルダーに背の高い容器(例:500mlペットボトル)を置いた場合は、容器の横倒れに注意してください。なるべく背の低いフタ付きの容器をご使用ください。
また、ペットボトルは必ずフタを締めて置いてください。
○人がぶつかるなどして歩行車が動いた場合に容器が倒れることがあります。

⚠注意

折りたたみ状態での注意 ●この歩行車は折りたたんだ状態では自立しません。折りたたんで保管する際は歩行車本体の転倒にごご注意ください。
○歩行車本体の転倒による製品の破損やケガなど思わぬ事故の原因になります。

⚠注意

保管時の注意

- 使用しない時は折りたたみ、収納保管してください。また、幼児や子供の手の届くところには放置しないでください。
- 通行する人が歩行車に引っかかって転倒したり、誤って踏むなどすると変形、破損します。また、この歩行車で幼児や子供が遊んだりすると、指や頭をはさんでしまったり、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

直射日光に注意

- 保管時は、直射日光の当たらない屋内に収納保管してください。
- 屋外に放置するとサビや紫外線による金属、樹脂、ゴムの劣化が進行しやすくなる原因になります。

⚠注意

保安上の注意

- 非常口や消火器、消火栓の前には放置しないでください。
- 緊急時の避難や救助の妨げになります。

⚠注意

濡れたまま 放置しない

- 屋外で使用し、突然の雨や水はねなどにより濡れてしまった場合は、ご使用後に乾いた布で水気を拭き取り、乾燥させてください。また、屋内での使用でも、飲み物がこぼれたり、消毒液がかかるなどして濡れてしまう場合があります。濡れてしまった場合はすぐに拭き取り、乾燥させてください。
- 濡れたまま放置すると、金属部分がサビたり、座面など樹脂部品の劣化(退色、亀裂)が進行しやすくなる原因になります。薬品などがかった場合、薬液の影響などで金属部分や樹脂部の劣化が早期に進行する可能性があります。定期的に点検していただき、異常が見られる場合は使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

⚠注意

火のそばに置かない

- 歩行車を火のそば(ストーブなどの暖房器具)に置かないでください。
- パイプに触れてやけどをしたり、樹脂部分やトレイなどが溶けて使用できなくなる恐れがあります。

⊘禁止

乱暴な取扱いは しない

- 「歩行車を倒す」などの乱暴な取扱いはしないでください。また、「高いところから落とす」「壁や段差にぶつける」「勢いをつけて座る」など、繰り返し強い衝撃が加わるような使い方はしないでください。
- パイプが変形して歩行車がガタつき、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。また、繰り返し強い衝撃が加えられると座面などの樹脂部分に破損を生じる恐れがあります。

⊘禁止

異常が現れた時には (修理の禁止)

- 『お手入れの際のチェックポイント:17~19頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検してください。
万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。
*お客様ご自身で修理をおこなった場合、弊社での修理対応ができなくなる場合があります。

⊘禁止

【片手で操作をする場合】



警告

*安全のために必ずお守りください。

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

ご使用条件

●次の方はご使用いただけません。

- ・片手でブレーキ操作ができない方。
- ・バランスがとれず、不安定になる方。

この製品を片手（健側）で使用できるか専門家（医師、理学療法士、ケアマネージャー、介護福祉士など）にご相談ください。専門家の判断の元、使用する場合は、次の警告・注意事項を含め、他の警告・注意事項を再度ご確認ください。

- 用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。

⊖ 禁止

歩行時の注意

❶ 必ずおこなう

●重心が歩行車の中心にくるよう、健側前腕を大型アームレストへしっかりとのせてご使用ください。歩行車の片側に極端な荷重をかけないでください。

- 片側だけに極端な荷重がかかったり、健側前腕がしっかりとついていないと、左右のバランスが崩れ上体が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

❷ 必ずおこなう

●まっすぐに進むことができない場合（偏った方向に進んでしまう場合は、まっすぐ進めるよう速度調節器で左右のバランスを調節してください。調節方法については『速度調節器の操作方法：13頁』をご参照ください。

- 身体の動きと本製品の進む早さがあっていないと転倒やケガなど思わぬ事故の原因になります。

⊖ 禁止

●座面への立ち座りの際、本体や大型アームレストに偏った荷重をかけないでください。

- 歩行車が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。ご使用になる方の状態により、介助の方が付き添ってください。

⚠ 注意

●歩行時に、グリップや駐車ブレーキ、フレーム、タイヤ、速度調節器等に身体が

ぶつからないようご注意ください。特にマヒにより感覚が無い場合は、ご注意ください。

- ケガや転倒など思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

●片手でブレーキ操作をする際等の指はさみにご注意ください。特に患側の手が巻き込まれないようご注意ください。

- 指や手などがはさまれ、ケガなど思わぬ事故の原因になります。



注意

*安全のために必ずお守りください。

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

介助の方が付き添い使用

●ご使用される方の状態により、駐車ブレーキの操作（パーキングフックや駐車レバーの固定、解除）、大型アームレストの操作等が難しい場合は、必ず介助の方が操作をおこなってください。

- 操作時に、ご使用される方がバランスを崩し転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

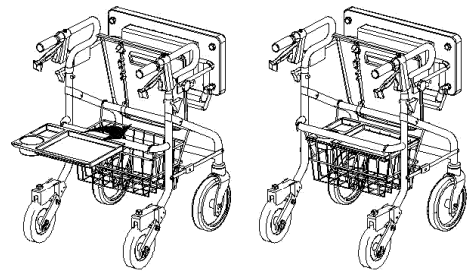
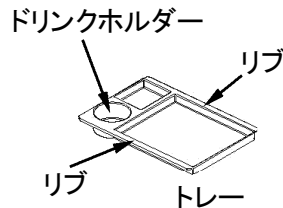
❶ 必ずおこなう

【ご使用前の準備】 *ご使用前にタイヤの養生用ラップをはがしてください。

『 1. トレーの取付』 *カゴは出荷時にはセットされています。

トレーは必要に応じて取付け、ご使用ください。

トレーを使用される場合は、トレーの前後のリブをカゴの上部にはめ込み、トレーをしっかり取付けてください。



△ 注意

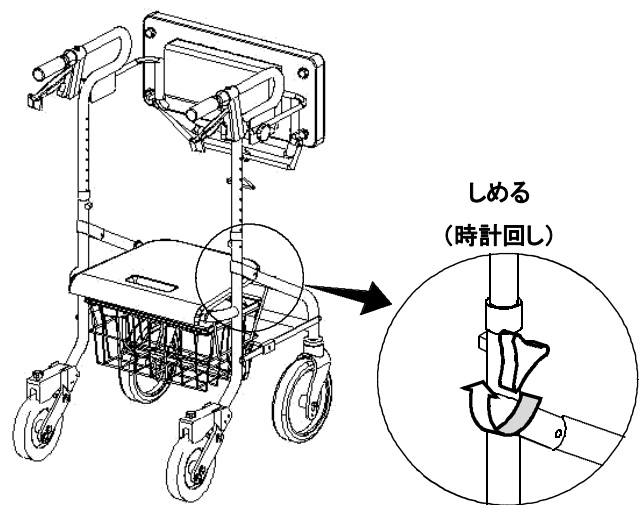
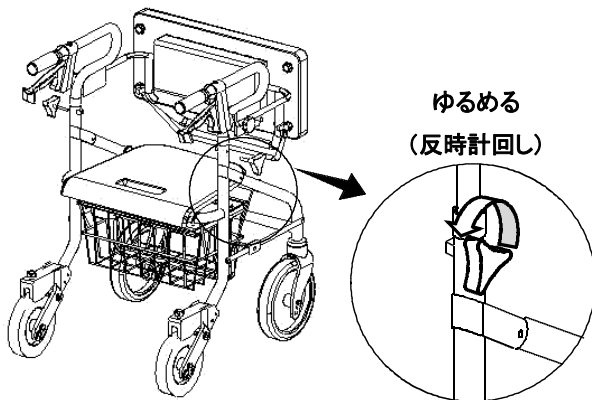
- 作業時に本体が倒れないようにご注意ください。
- トレーのみでの使用はできません。

『 2. 高さの調節』

①本体左右の高さ調節用ノブをゆるめて、取外します。

※出荷時は支柱パイプの高さがいちばん低い状態になっています。

②使用しやすい高さに支柱パイプの穴位置を合わせます。



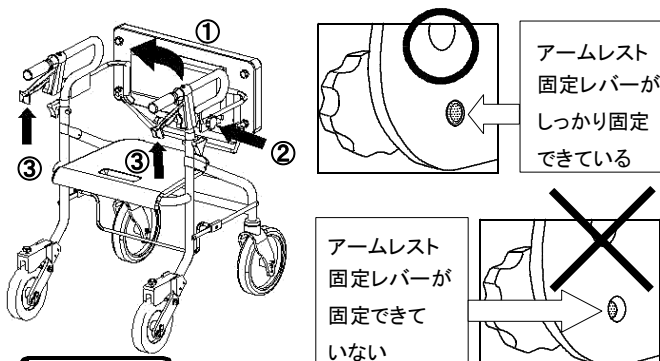
⚠ 必ずおこなう △ 警告

- 左右の支柱パイプは同じ穴位置(高さ)にセットしてご使用ください。
- 高さ調節用ノブをしっかりと締め付けてください。

『 3. 大型アームレストの操作方法』

大型アームレストを起こす

- ①大型アームレストを持ち上げるようにしてハンドルパイプの上ののせます。
- ②アームレスト固定レバーがしっかり固定できていることをご確認ください。
- ③駐車ブレーキを解除してください。

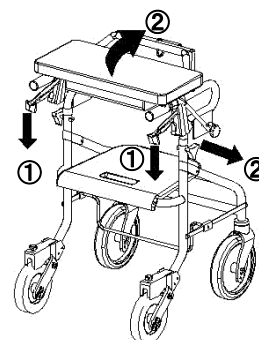


△ 指はさみ注意

- 指や手のはさみ込みにご注意ください。

大型アームレストを前方に倒す

- ①駐車ブレーキを作動させる。
- ②本体右側のアームレスト固定レバーを引き、大型アームレストを少し上に持ち上げながらゆっくり前方に倒します。



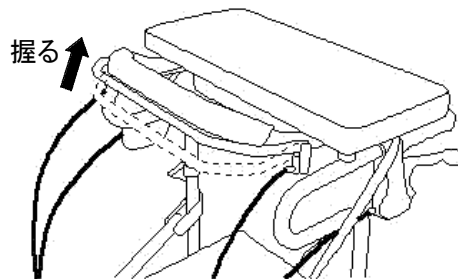
△ 指はさみ注意

- 指や手のはさみ込みにご注意ください。

【ブレーキの操作方法】

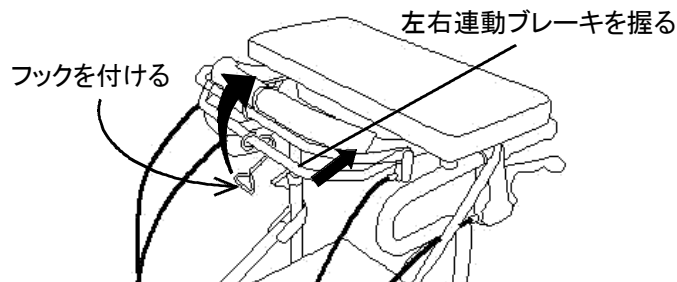
1. 左右連動ブレーキの操作方法

ハンドルバーをしっかりと握りながら、左右連動ブレーキを握り(自転車のブレーキと同じように)、握る力を調整しながらブレーキをかけ、歩行車の速度を調節します。



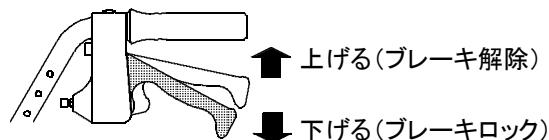
2. パーキングフックの操作方法

左右連動ブレーキについている、パーキングフックをハンドルバーに固定します。左右連動ブレーキを握ったまま、フックをハンドルバーに付けて固定します。しっかり固定ができていることを確認してください。解除する時は逆の手順をおこなってください。



3. 駐車ブレーキの操作方法

駐車レバーを”カチッ”と音がするまで下に下げると駐車レバーが止まり、後タイヤがロックされます。駐車レバーを上に戻るとロックが解除されます。



【ブレーキの調整方法】

1. ブレーキ調整の準備

☆ブレーキ調整は本体を①～④の状態におこなってください。

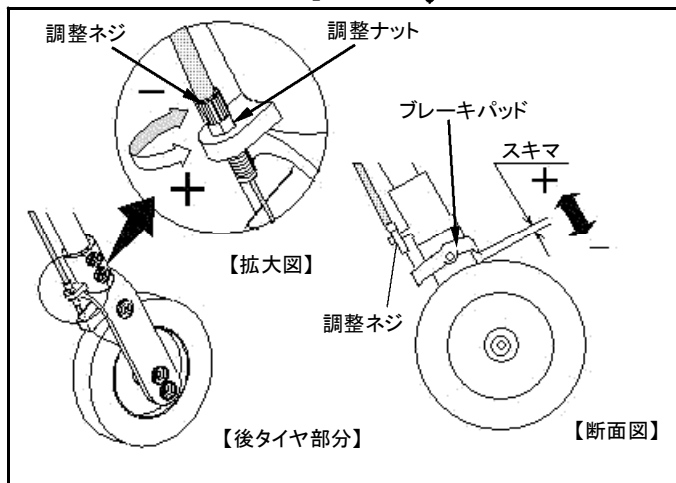
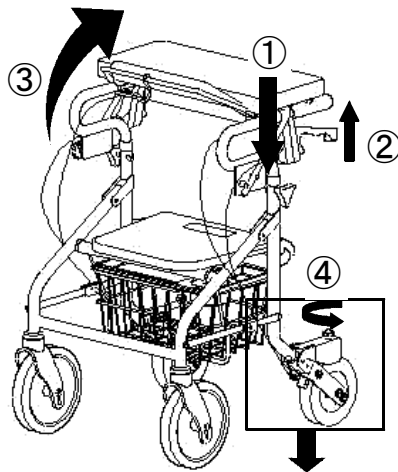
- ①支柱パイプの位置をいちばん低くする。
- ②駐車レバーとパーキングフックを解除する。
- ③大型アームレストを起こす。
- ④速度調節器を弱めて、ローラーと後タイヤにスキマを作る(次頁の速度調節器の操作方法を参照)

2. ブレーキの調整

調整ネジを抑えながら、ナットを左右に回して、後タイヤとブレーキパッドのスキマを調整します。

ナットを右に回すとスキマが小さく(-)なり、ナットを左に回すとスキマが大き(+)なります(出荷時は+方向には調整できません)

ブレーキを解除した状態で後タイヤに引っかかりがないこと、左右連動ブレーキを握った時にしっかりとブレーキがかかること、駐車ブレーキをかけ、後側を持ち上げ、後タイヤを手で持ち、容易に後タイヤが回転しない状態に固定されることをご確認ください。ブレーキの調整をおこなっても後タイヤが固定されずブレーキが作動しない場合は、後タイヤのすり減りやブレーキパーツの破損などの可能性があります。使用中を中止して『アフターサービスのお問合せ先: 20頁』または発売元までお問合わせください。



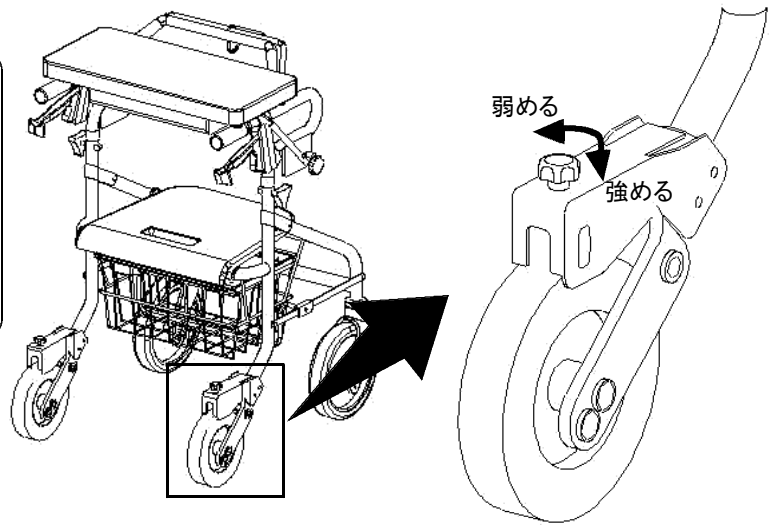
【速度調節器の操作方法】

⚠ 警告

- ご使用される方の状態により、後タイヤに負荷をかけて、本体の走行速度を抑えることができます。速度の調節につきましては、必ず専門家にご相談の上、おこなってください。
- 調節が不十分のままご使用すると製品の破損や転倒など、思わぬ事故の原因になる場合があります。

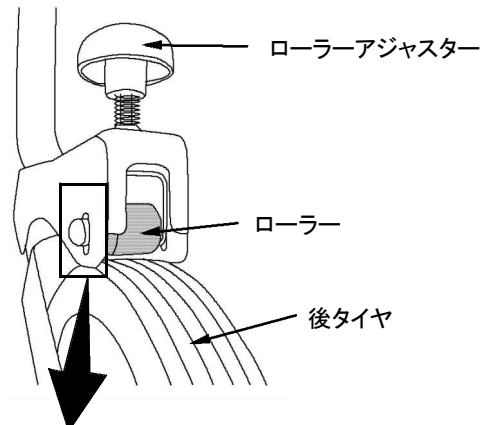
速度調節器の調節方法

ローラーアジャスターを”強”の方向に回すとローラーが後タイヤにあたり回転が重くなります。
反対に”弱”の方向に回すと、ローラーが後タイヤから離れ回転が軽くなります。



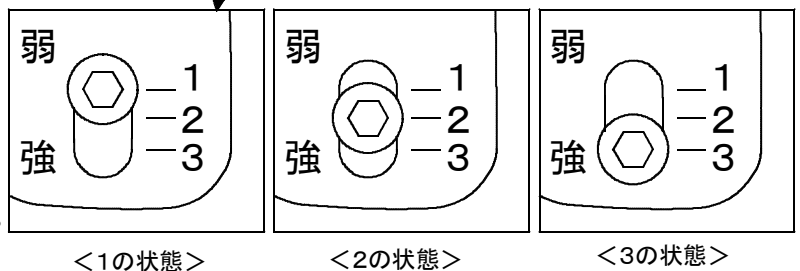
❗必ずおこなう

- ・速度調節をする場合は、速度調節器後方から、ローラーと後タイヤの状態を確認しながら、調節をおこなってください。
- ※初期状態では、ローラーアジャスターがゆるめである状態で、ローラーと後タイヤにスキマがあります。



速度調節器の調節目安について

- ・ローラー取付けボルトの位置が1～2の間は、速度調節器が作動しない状態です。速度調整器を作動させる場合には、ナットの位置が2～3の間を目安としてご使用ください。



❗必ずおこなう

- 速度調節器を調節する場合は、歩行時に後タイヤが回転する程度に調節してください。
- 後タイヤが回転しないぐらいまで速度調節器を調節すると、ローラーやローラーアジャスターなどが破損するなど思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

- 左右の速度調節器は個別に、調節をおこなってください。
- 左右のタイヤ、ローラー部分の多少の表面の異なりや、角度の違い、摩耗などの状態により、左右の速度調節器の数字が同じでも抵抗負荷が異なります。

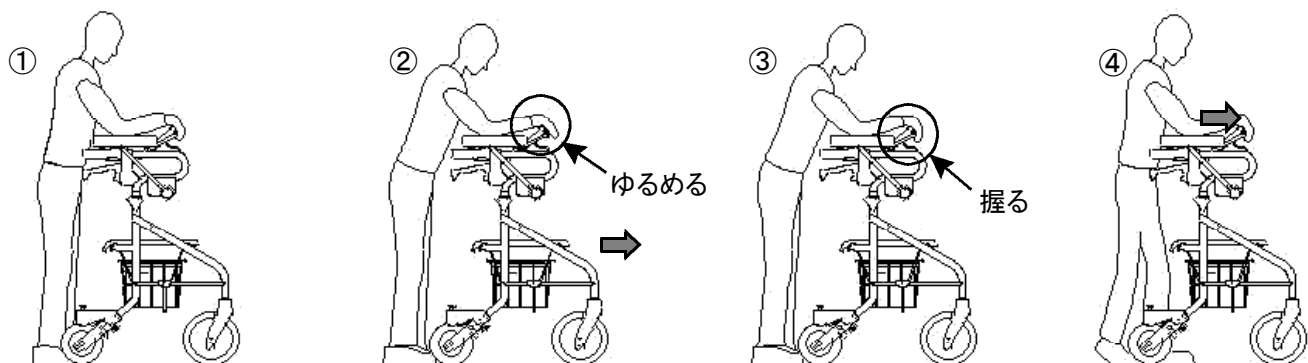
❗必ずおこなう

- 歩行する際に速度の調節を必要としない場合は、<1の状態>にし、ローラーと後タイヤとの間にスキマをあけてください。この時、ローラーアジャスターをゆるめる方向に回して、タイヤとローラーにスキマがあき、ローラーアジャスターが回せなくなったら、それ以上ローラーアジャスターをゆるめる方向に回さないでください。
- 後タイヤとローラーの摩耗を早めたり、速度調節器の各部品が破損してしまう原因となります。

【ご使用方法】

*ご使用前にタイヤの養生用ラップをはがしてから使用してください。

歩行方法(下の②～④までの動作を繰り返し、少しずつ歩行してください。)



①ハンドルバーと左右連動
ブレーキを握り、前腕を
アームレストの上にのせます。

②ブレーキをゆるめて、
前腕で歩行車を軽く
押すように前に
動かします。

③左右連動ブレーキを
しっかり握り、歩行車を
確実に停止させます。

④ブレーキを作動させた
まま身体を少しずつ前に
移動します。

❶必ずおこなう

●歩行時には、前腕を大型アームレストにのせ、ハンドルバーをしっかり握り、常に左右連動ブレーキがかけられる状態にしてご使用ください。

○ハンドルバーを握らないで使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

⊘禁止

●この歩行車は大型アームレストを倒して、グリップを握った状態での歩行はできません。

○この状態で使用すると後タイヤが摩耗したり、ブレーキ部品が破損するなど思わぬ事故の原因となります。

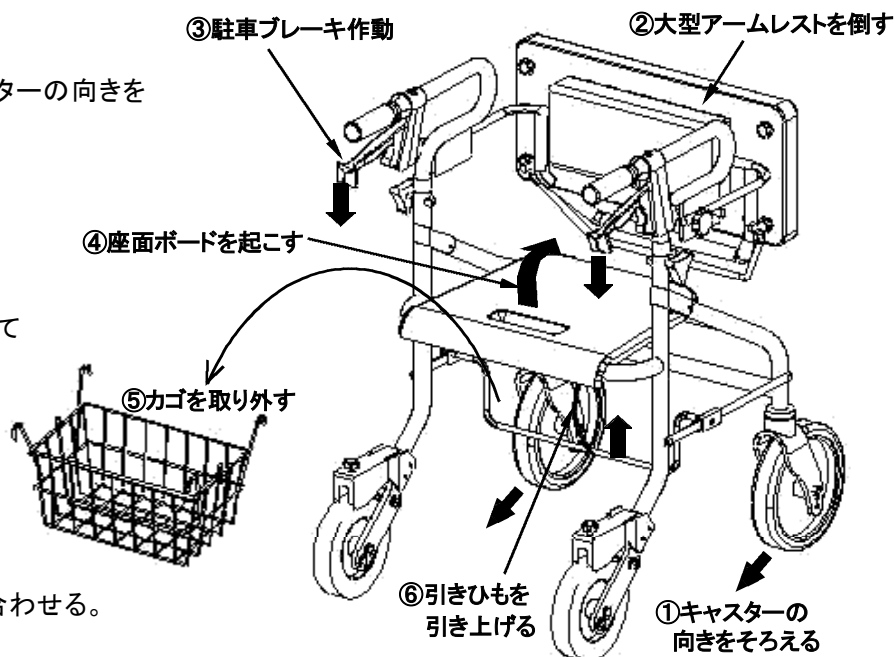
【折りたたみ・収納方法】

⚠ 注意

- ご使用される方の状態により、折りたたみ収納操作、持ち運びなどが難しい場合は、必ず介助の方がおこなってください。
- 無理に操作をおこなうと、ご使用される方が身体のバランスを崩して、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

折りたたみ方法

- ①一度手前に歩行車を少し引き、キャスターの向きをまっすぐにします。
- ②大型アームレストを前方に倒します。
- ③駐車ブレーキをかけます。
- ④座面を起こします。
- ⑤カゴを外します。
- ⑥折りたたみバーの引きひもを持ち上げて折りたたみます。

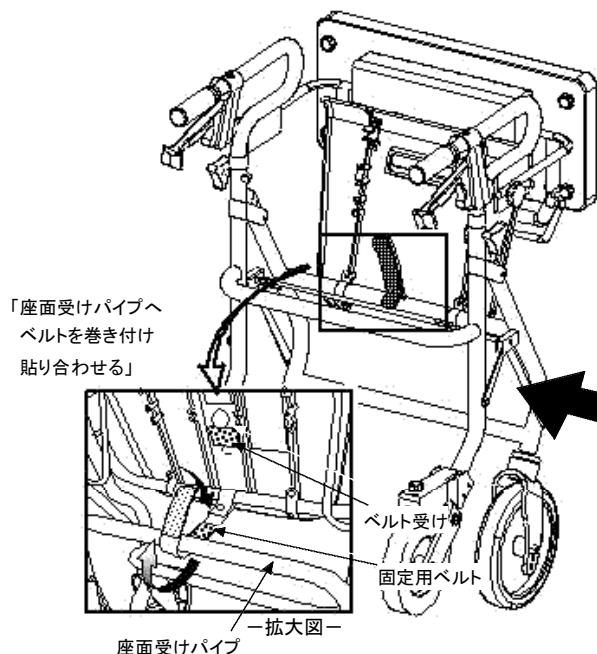


折りたたみ状態の保持

固定用ベルトで固定します。
座面受けパイプへベルトを巻き付け貼り合わせる。

⊘ 禁止

- 固定用ベルトで固定した状態で無理に本体を開かないでください。
- ベルトや本体が破損するおそれがあります。



⊘ 禁止

折りたたみステーを握らないこと！

⚠ 指はさみ注意

- 折りたたみステーを握らないでください。
- 指がはさまり、切断などケガの恐れがあります。

⚠ 注意

- この歩行車は折りたたんだ状態では自立しません。
- 折りたたんで保管する際は歩行車本体の転倒にご注意ください。
- 歩行車本体の転倒による製品の破損やケガなど思わぬ事故の原因になります。

【ブレーキの点検方法】  **警告** ご使用される方、介助される方、レンタル事業者様へのお願い。

① 必ずおこなう

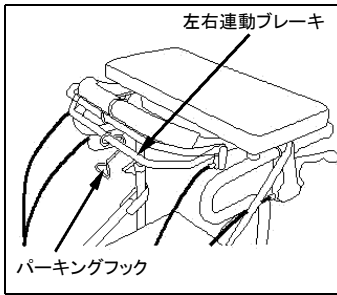
【ブレーキ点検についての注意】 * 安全のために、必ずお守りください！

ブレーキに関する下記の①～⑥までの項目については、**使用前に必ず毎回点検をおこない**ブレーキが正常に作動することをご確認ください。駐車ブレーキを作動させてもタイヤが動いてしまう場合などブレーキに異常が見られる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問い合わせ先：20頁』または発売元までお問合せください。

*** ブレーキワイヤーは安全のため、必ず1年に一度定期的に点検してください。**

① 左右連動ブレーキ

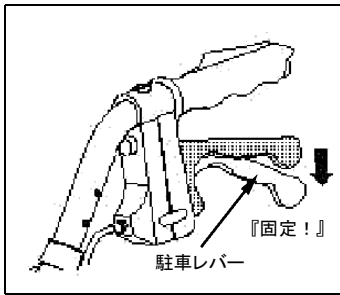
① 必ずおこなう



ハンドルバーを握り、左右連動ブレーキを作動させ、後タイヤが動かないことをご確認ください。次に、パーキングフックをかけて、手で後タイヤが回転しないことを左右ともご確認ください。
(左右連動ブレーキの操作方法は12頁を参照)

② 駐車ブレーキ左右2ヶ所

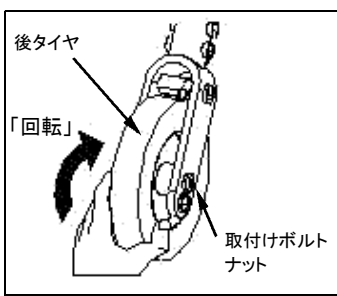
① 必ずおこなう



駐車ブレーキを作動させ、駐車レバーが固定され、手で後タイヤが回転しないことを左右ともご確認ください。
(駐車ブレーキの操作方法は12頁を参照)

③ 後タイヤ・フォーク左右2ヶ所

① 必ずおこなう

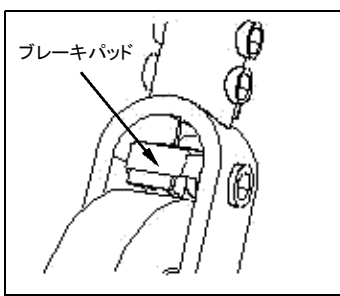


ブレーキをかけてもタイヤが回転してしまう場合、タイヤのすり減りの可能性があります。調整方法にしたいが調整をお願いします。
(ブレーキの調整方法は12頁を参照)
次に、タイヤが滑らかに回転すること、フォークに変形や破損がないこと、取付けボルトにゆるみがないことを、左右2カ所とも必ずご確認ください。

- * 定期的に車軸部に注油してください。
- * タイヤに油がついた場合はふき取ってください。

④ ブレーキパッド左右2ヶ所

① 必ずおこなう



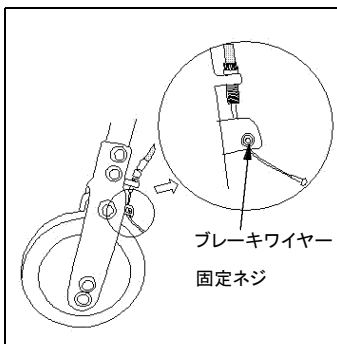
③でブレーキを調整しても、正常に作動しない場合、ブレーキパッドが動かなくなっている可能性があります。ブレーキパッド周囲に、ゴミや髪の毛などの異物がからまっているかご確認ください。異物などがからまっている

- * 定期的にブレーキパッド可動軸部に注油してください。
- * ブレーキパッドのタイヤ接合面や、タイヤに油がついた場合はふき取ってください。

場合は取り除き、ブレーキパッド可動軸部に注油してブレーキパッドの動きを確認してください。

⑤ ブレーキワイヤー固定ネジ左右2ヶ所

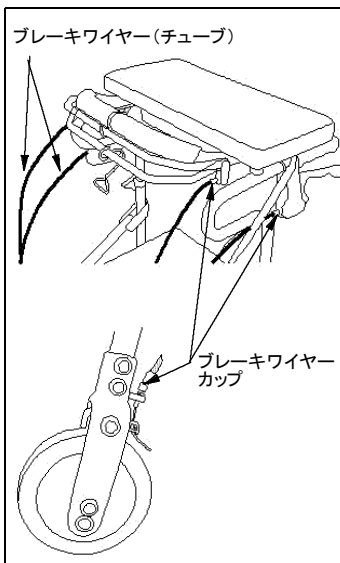
① 必ずおこなう



③④をおこなってもブレーキが正常に作動しない場合、ブレーキワイヤーが切れていたり、ブレーキワイヤー固定ネジがゆるんでいる可能性があります。ブレーキワイヤー劣化の確認とブレーキワイヤー固定ネジが確実に締め付けられ、ブレーキワイヤーとブレーキパッドがしっかり固定されていることをご確認ください。ブレーキワイヤーなどに異常が見られる場合は、即時に使用を中止して、販売店または『アフターサービスのお問い合わせ先：20頁』または発売元までお問合せください。

⑥ ブレーキワイヤー(チューブ)左右6ヶ所

① 必ずおこなう



ブレーキチューブの両端が、ワイヤーカップにはまっていることをご確認ください。また、チューブに、傷や、やぶれがないことをご確認ください。

【お手入れの方法】

- * 汚れを落とす際は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞ってふき取ってください。
汚れをふき取った後は、乾いた布で水気をふき取り乾燥させてください。
- * タイヤの動きをスムーズにするため、定期的に車軸部に市販の自転車用機械油などを注油してください。

お手入れの際の注意

- お手入れの際にケガなどには十分ご注意ください。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。
- 樹脂部分やグリップゴムが溶け、変形する恐れがあります。
- 金ブラシ・たわしなどは使用しないでください。
- アルミパイプ、その他樹脂部分が傷つきます。
- フレームの一部・ボルト・ナット・カシメなどはスチール製です。
定期的に市販の防錆油などで、サビ止め処置をおこなってください。
- 車軸部に注油する際は、タイヤやブレーキパッドに油が付着しないようご注意ください。
- ブレーキの性能が著しく低下する恐れがあります。
- 本体や、パイプ溶接部にキズや亀裂がないかを定期的にご確認ください。



注意

【お手入れの際のチェックポイント】



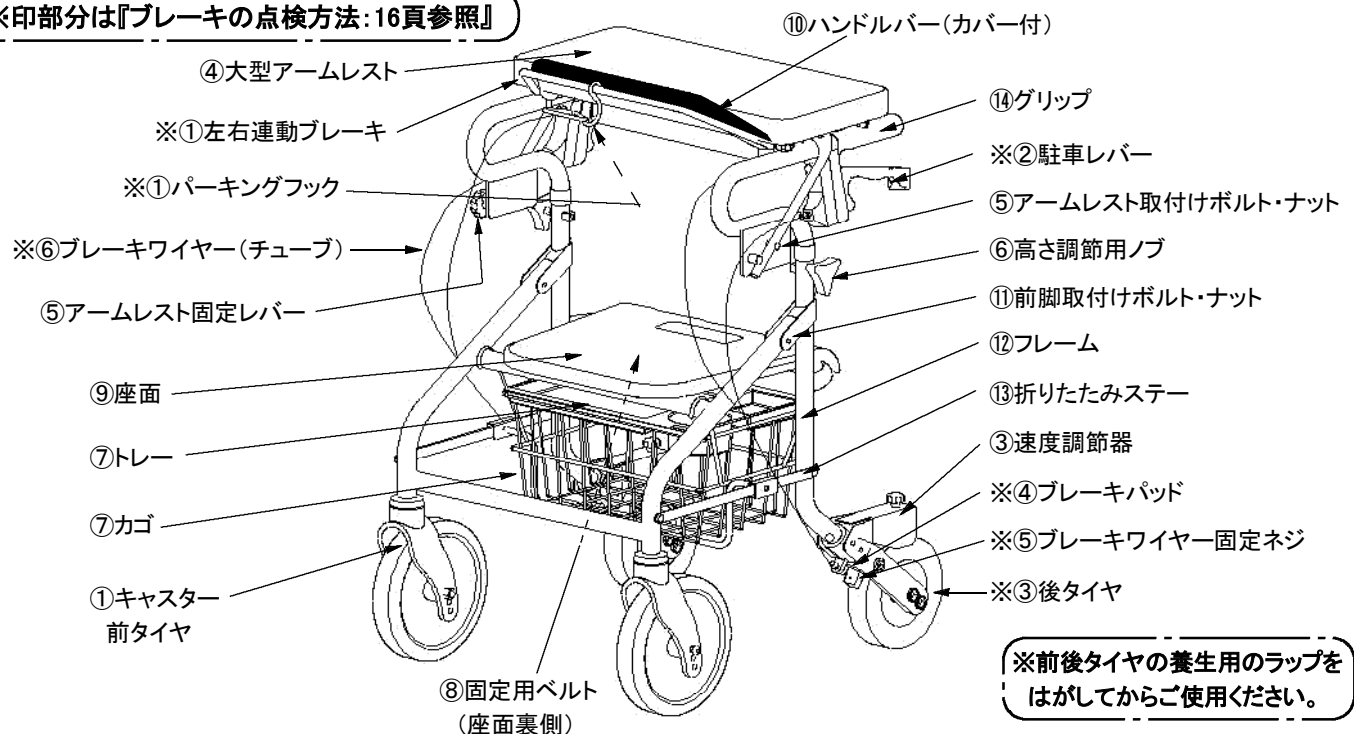
警告

- 製品は使用とともに劣化が進みます。この取扱説明書をご参照の上、定期的の下図の部分を重点的に歩行車の各部を点検してメンテナンスをしていただきますようお願い申し上げます。
- この製品の保証期間は、ご購入日より1年間です。
なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいている製品につきましては、特に注意して定期点検をしていただき、点検の結果、製品に異常が見られる場合には、即時に使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先: 20頁』または発売元までお問合せください。

<消耗部品について>

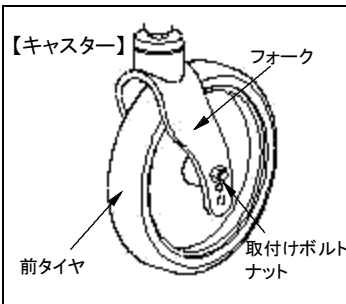
タイヤ、大型アームレスト、ハンドルバーカバー、ブレーキ関連部品、座面などは消耗部品です。
定期的に点検していただき、メンテナンスの際に摩耗や劣化、破損などがある場合は交換してください。

※印部分は『ブレーキの点検方法: 16頁参照』



① キャスター（前タイヤ）・

前タイヤ取付けボルト 左右2ヶ所

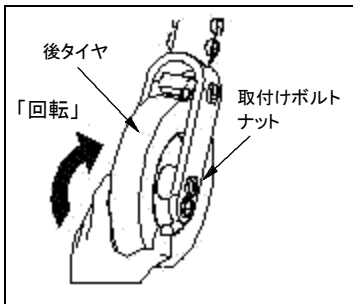


キャスターが滑らかに回転すること、フォークに変形や破損がないことを各部左右ともご確認ください。次に、前タイヤが滑らかに回転すること、フォークに変形や破損がないこと、前タイヤ取付けボルト・ナットにゆるみがないことを、左右2カ所とも必ずご確認ください。

* 定期的に車軸部に注油してください。 ください。

② 後タイヤ・

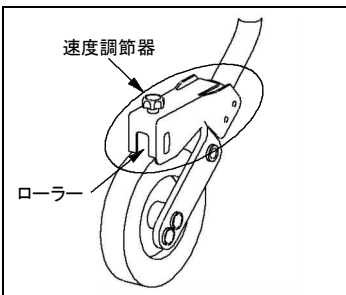
後タイヤ取付けボルト 左右2ヶ所



後タイヤが滑らかに回転すること、後タイヤ取付けボルト・ナットにゆるみがないことを左右2ヶ所とも必ずご確認ください。

* 定期的に車軸部に注油してください。

③ 速度調節器左右 2ヶ所

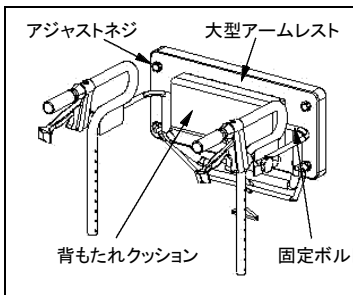


速度調節器がしっかり作動することをご確認ください。正常に作動しない場合、速度調節器のローラーの摩耗や、ローラーの周囲にゴミや髪の毛などがからまっていないかご確認ください。また、その場合はゴミなどを取り除いてください。

* 速度調節器の操作方法は13頁を参照してください。

④ 大型アームレスト・背もたれクッション・

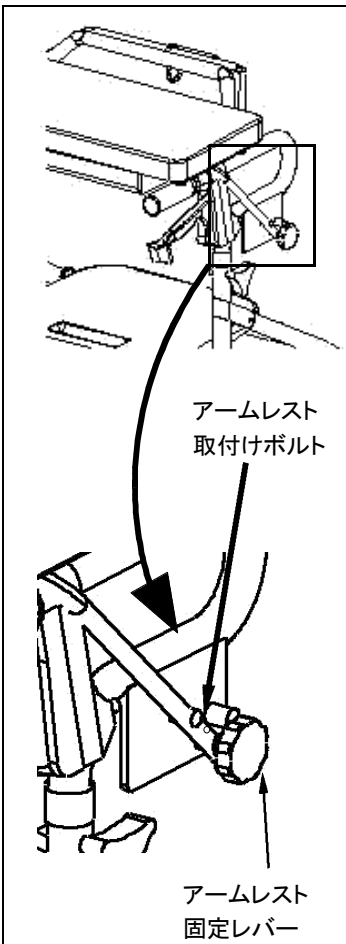
固定ボルト・アジャストネジ



大型アームレストと背もたれクッションに破れや変形がないこと、固定ボルト(8ヶ所)がしっかりついていること、アジャストネジ(4ヶ所)が付いていることを確認してください。

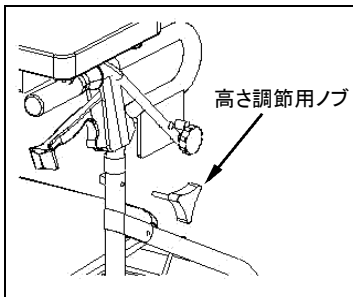
⑤ アームレスト固定レバー（片側1ヶ所）・

アームレスト取付けボルト・ナット左右2ヶ所



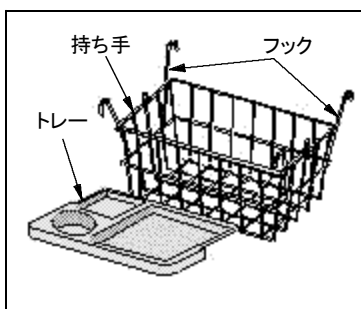
大型アームレストがアームレスト固定レバーでしっかり固定できることをご確認ください。次に、アームレスト取付けボルト・ナットにゆるみがないことを、左右2カ所とも必ずご確認ください。このボルト・ナットがゆるんでいる場合は、ボルトの頭を六角レンチでおさえ、ナットをスパナで締め直してください。ボルト・ナットがゆるんだまま使用するとアームレストがはずれて、腰をかけた際に後ろに転倒してしまうなど思わぬ事故の原因になります。このボルト・ナットを強く締め付けすぎると、動きが悪くなります。ボルト・ナットを締め直した際に、動きが悪くなった場合には、少しゆるめて動きを確認してください。アームレスト固定レバーやアームレスト取付けボルトに異常が見られる場合には、即時に使用を中止して『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

⑥ 高さ調節用ノブ 左右2ヶ所



高さ調節用ノブがしっかり締め付けることができるかご確認ください。締め付けができない場合、高さ調節ノブの変形やねじ山が破損している可能性があります。

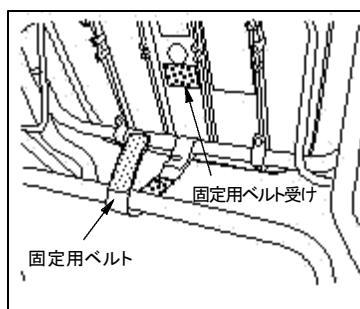
⑦カゴ・トレー



カゴに変形や破損がないこと、また、持ち手が外れていないことをご確認ください。トレーに割れや破損がないことをご確認ください。

⑧固定用ベルト

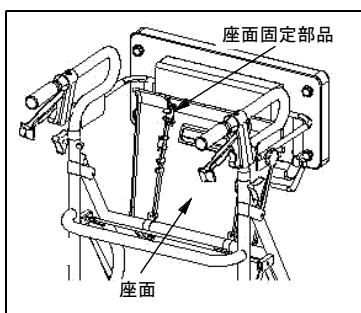
(* 本体を折りたたみ座面裏から見た図)



固定用ベルトにやぶれやほつれがないことをご確認ください。固定用ベルト受けが座面裏にしっかりと貼り付けられていることをご確認ください。

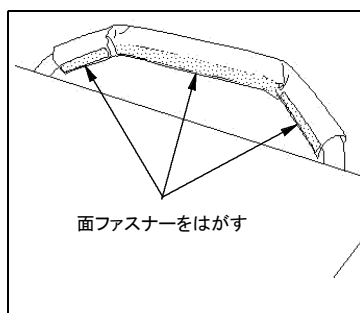
⑨座面

(* 本体を折りたたみ座面裏から見た図)



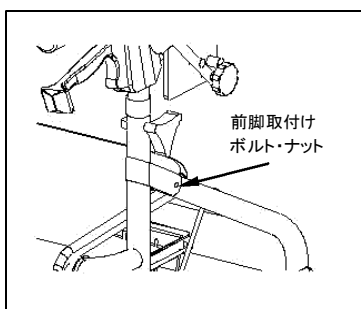
座面に亀裂や変形がないことをご確認ください。裏面もご確認いただき、固定用部品等に破損がないことをご確認ください。

⑩ハンドルバーカバー



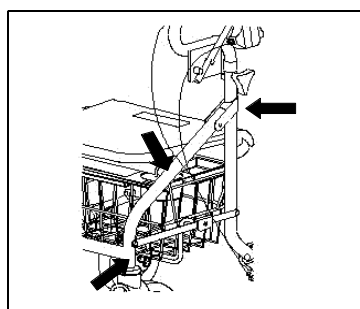
ハンドルバーカバーにやぶれや変形がないことをご確認ください。ハンドルバーカバーは内側の3ヶ所の面ファスナーをはがし、取外して交換することができます。

⑪前脚取付けボルト・ナット 左右2ヶ所



前脚取付けボルト・ナットにゆるみがないことをご確認ください。

⑫フレーム(パイプ/各部溶接ヶ所)

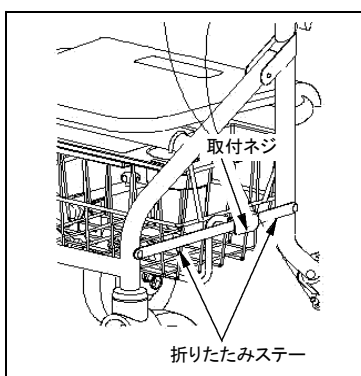


フレーム(パイプ/各部溶接ヶ所)に変形や亀裂などの異常がないことをご確認ください。4輪が平面で接地していない場合、フレームが変形している可能性があります。

* 溶接ヶ所(図中矢印)を注意してご確認ください。

⑬折りたたみステー

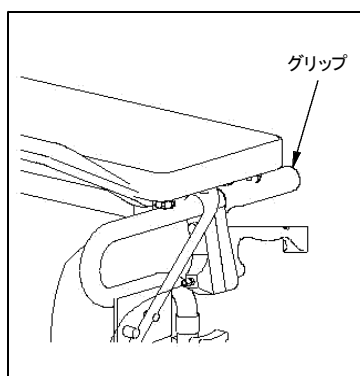
(取付けボルト・ナット) 左右計6ヶ所



折りたたみステーがスムーズに作動することをご確認ください。折りたたみステーの取付けボルト・ナット、取付けネジにゆるみがないことをご確認ください。

* 時々可動部に注油してください。

⑭グリップ 左右2ヶ所



グリップにやぶれのないこと、簡単に回転したり、外れないことをご確認ください。

【安全に製品をご使用いただくために・・・】

《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・セーフティーアーム ロレータUタイプ」をレンタル品としてお取扱いただきまして、誠にありがとうございます。歩行車をレンタルされる際には、実際にご使用になるお客様に、歩行車の使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:家具、敷居、敷物など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒にご利用者様へお渡しください。
- ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。長期にわたってレンタルされる場合はご使用される方の症状が変わる場合があります。定期的にご利用者様にとってこの用具が正しく、安全に使用することが可能かどうか、製品の状態、使用方法や使用状況などをご確認の上、再度、用具(歩行器、多点杖、歩行車など)の選定の検討や正しい使用方法のご説明をお願いいたします。
- 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、歩行車の状態を『お手入れの際のチェックポイント:14~15頁』に基づきご確認いただき、メンテナンスを行ってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記:『製品についてのお問合せ先』までお問合せください。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・セーフティーアーム ロレータUタイプ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:下記』または発売元までお問合せください。

『アフターサービスのお問合せ先』

製品名(品番)

セーフティーアーム ロレータUタイプ (品番:RSAU)

レンタル開始日 年 月 日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

*** 商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。**

* 無断転載・複写を禁じます。

* 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。

* 「セーフティーアーム」は株式会社イーストアイの登録商標です。

* 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。

* 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[rsau_150821_dj]